

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス ポピー | | | | 公表日 | 2026年2月20日 |
|----------|--------|--|-----|---------|--|---|------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | 7 | 階段の上り下りで職員がマンツーマン対応しています。 | 2階設置というところで、階段についてバリアフリーの観点からは課題を感じています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | リアルタイムで消毒を行っています。1時間に3分から5分の換気を管理表を用いて行なっています。ジョイントマットは毎日の消毒を行っています。 | ジョイントマットの白地の部分の汚れが目立っています。消毒清掃で間に合わない部分は交換を行います。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | プレイルームと課題（食争）の区分けがありますが、必要に応じて静養室も選択できるようにしています。 | 静養室使用はマンツーマンであるため、状況によっては人数が多い部屋の職員が不足することが考えられます。パーテーションを増設するなど、区分けによっても個別のスペースが確保しやすいように設備投資していきます。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 7 | | 今後どのような時に外部評価が必要か検討致します。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | | 7 | | 独自のツールを使用していますが、標準化されたアセスメントの使用には至っていません。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 1 | 平日は外周の清掃を行い、地域の皆様と挨拶を交わすことで、連携の足がかりを作っています。 | 地域支援・地域連携において課題を感じています。集団での移動を訓練し、地域活動に参画することが目標です。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | | 担当が意見を集める形になっていますが、会議形式で意見を集めることも有効だと思えます。今後その機会を増やしていきたいと思えます。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 1 | | 活動が固定化していると課題意識を持った職員がいることは、ありがたいことです。全員で固定化しないよう、アイデアを出し合いながら、新鮮な刺激がある活動プログラムにしていきたいと思えます。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | 7 | | | 支援終了後のケア記録、送迎で終了時刻に達しています。ケア記録時に情報交換を行っていますが、全員揃って振り返るのは翌日になっています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | 集団活動の訓練を推進し、外出支援の質を上げていくことで、地域交流可能な状態を目指しています。 | 地域交流の機会に課題があります。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | 1 | 人権擁護、虐待防止の研修を重ね、人権擁護についての意識を高めています。自己決定を尊重するだけでなく、それを妨げる要因にアプローチし緩和させていきます。 | 具体的な工夫の手法、引き出しを増やす段階にきています。単発の支援で終わることなく、選択肢がご本人様のニーズにあったものになるよう、今後も努力致します。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 1 | 保護者様、児童発達管理責任者、時に外部の併用先の事業所様も交えながら、より良い支援を模索しています。 | 不足を感じ課題意識を持つことも大切な観点です。その一方で、周知不足、情報共有にも不足がなかったか振り返りながら、尽力して参ります。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 3 | 幸い、モニタリングでセンターの職員様がいらっしゃるため、助言等を受ける機会があります。 | 積極的に今月は何を質問するかなど、まとめて記録していくことでより周知に繋がりたいと思います。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 7 | | | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 7 | 今後も研修の機会に参加します。 | 研修を受講していますが、今後も研修を重ねて具体的なプログラムが組めるまでに至っていません。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 5 | 不定期ですが、保護者の方が開いている会を広報することがあります。 | 主体的には至っていません。保護者様同士のつながりを大切にしつつ、それと同時に個別の相談体制も大切にしながら、自由度の高い選択肢を提供できるようにしていくことが課題です。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | ブラウザーのシステム連絡帳（HUG）の使用をもって代替しています。行事予定も配信しています。 | 既読数など、ツールの啓発に課題があります。推進致します。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 5 | 名古屋で実績があります。 | 三重県での実績がなく、今後の課題です。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | 7 | | 全てマニュアルがありますが、特にご家族様への周知が遅れています。配布もしくはHPで閲覧できるような仕組みなど検討致します。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 2 | 該当の方がいたケースでは、保護者様とも協議し、アレルギー物質を避ける対応をしたことがあります。徐々に慣らしていく対応については指示書があっても事業所では慎重になっています。 | 医師の指示書が伴う食物アレルギーの方が現在はいません。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 2 | | ご家族様への周知には至っていないことが課題です。ただ計画と訓練があるだけでは不十分ですので、早急に周知を進めます。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | | |